

西伊豆町 第4ブロック・仁科地区

津波避難行動ルールブック



平成31年2月
西伊豆町 町民防災会議



**第4ブロック仁科地区
住民ワークショップ**

■実施内容

- ・避難ルートの危険性確認
- ・防災対応の話し合い
(避難場所など)



はじめに

西伊豆町における様々な災害リスク(地震、津波、水害、土砂災害)に対する防災対策として、町民一人一人の防災力(防災意識)を高め、一人でも多くの命が助かることを目的に「町民防災会議」を立ち上げました。

仁科地区を中心とした第4ブロック会議では、沢田、浜、大浜、野畑、築地、中、一色の各区長をはじめとして、各区の防災委員や民生委員、それから各団体の代表者などが集まって、まずは地震・津波対策について協議をしてきました。このルールブックは、その協議内容をまとめたものです。

ただし、これは完成品ではありません。今後も内容を見直していくことはもちろんのこと、このルールブックに記載された内容をもとに、自分の命を守るための手立てや行動を付け加えていただいで完成となります。

この地区から一人も犠牲者を出さないように、ルールブックを地域における防災訓練などに活用し、みんなで考え、みんなで取り組みましょう。

町民防災会議では、これからも住民のみなさんと協議を重ね、地震・津波のほかにも水害や土砂災害など、さらに対策を進めていきたいと考えていますので、忌憚の無いご意見をお寄せいただけますと幸いです。

西伊豆町 町民防災会議
第4ブロック会議 会長 高井 廣



「地震の揺れは…最大で震度6強にもなり、
約3分間も揺れが続くと予測」

(内閣府想定による)

★まずは、地震の揺れから身を守りましょう

★自宅を安全な場所にしておく

家の耐震化は最も重要です。
家具の落下を防ぐ家具止めを確実に！

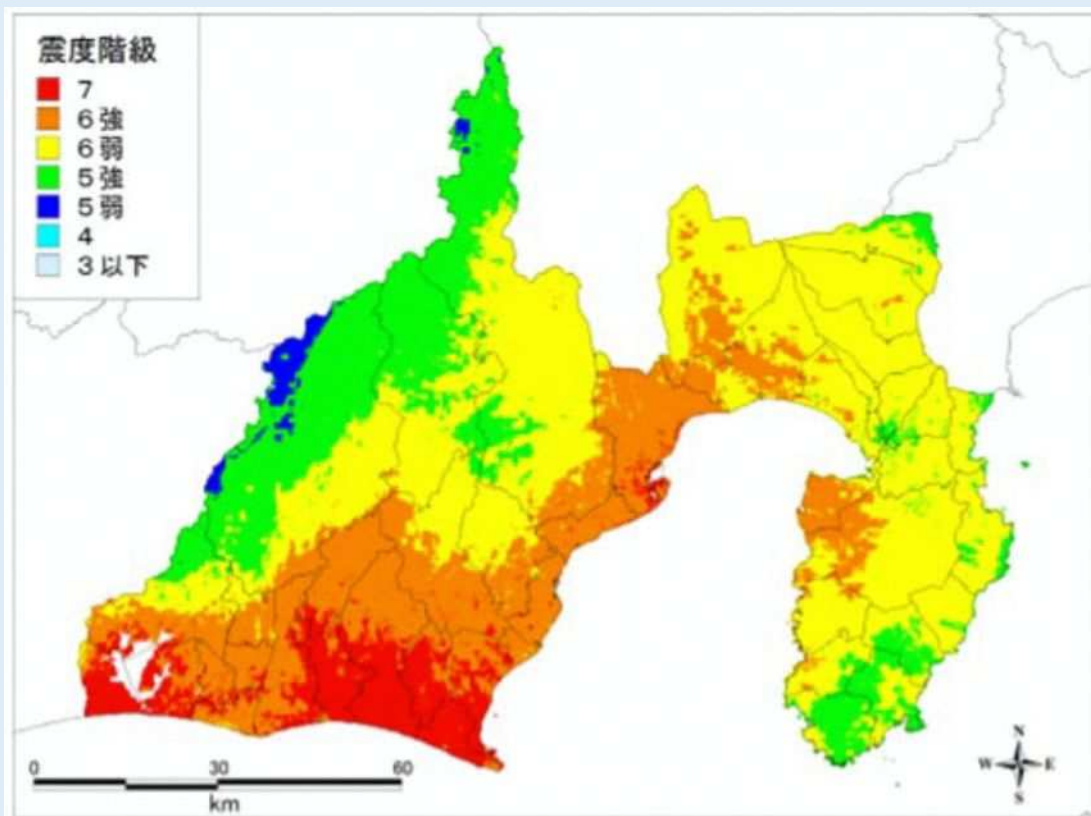
★確実に逃げられる方法を確認しておく

家族の避難場所を確認しましょう

★最終的に家族が避難する場所を決めておく

世帯別避難計画を作成しましょう

静岡県の震度予測



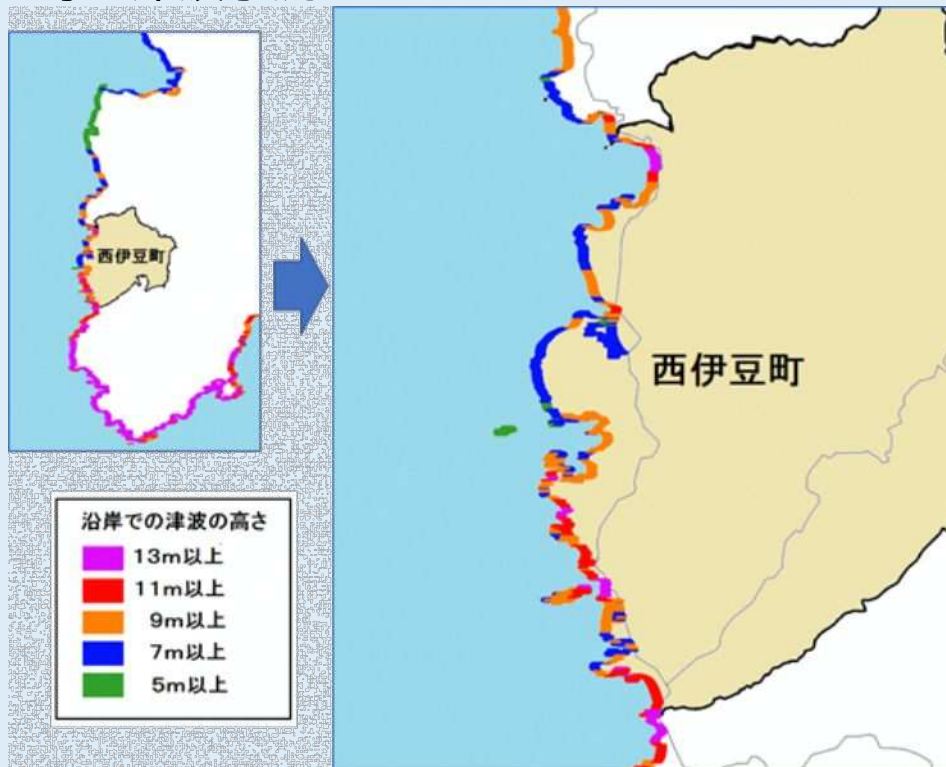
(出典:静岡県第4次想定資料から 南海トラフ東側ケースでの想定震度分布)



**「津波は…最短4分程度で到達し
高さ15メートルもの大津波になると予測」**
(内閣府想定による)

- ★津波から命を守るには、時間との勝負です！
何よりも命を守ることを最優先に考えましょう
- ★揺れたら“身の安全を確保しつつ” 情報を待たずに避難!!
- ★避難手段は徒歩、自動車は使わない
- ★避難後は津波が来ていなくても、自宅に戻らず
津波警報の解除が確認されるまで避難場所に留まりましょう

西伊豆町の津波予測



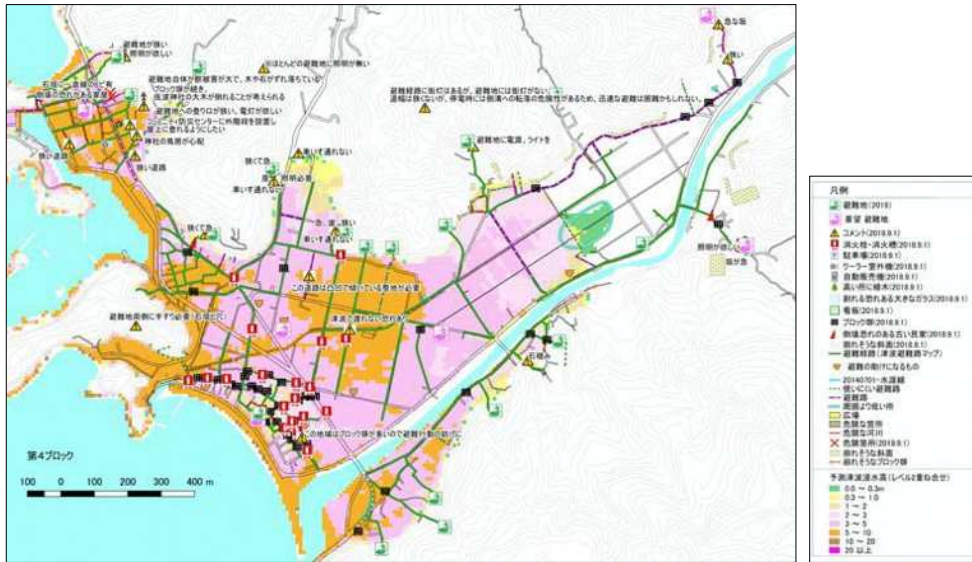
西伊豆町で最も高い津波の予測は15m……象島
 海岸線では最大14m……宇久須川河口北側・堂ヶ島付近・浮島北側
 高さ1mの津波が最も早く襲来するのは
 地震発生から3分49秒……田子島
 海岸線では4分01秒……安良里地区と田子地区の間
 (出典:内閣府・南海トラフの巨大地震モデル検討会二次報告)

仁科地区は、せまい道路や倒壊・転倒の恐れのある建物等が多数あります。避難する時は次の2点に気をつけましょう。

★道路が通れなくなることがあることを想定しておく

★いつもより移動に時間がかかることを想定しておく

安全な避難ルートを確認するため、町に要望することや、地区で住民が自ら実施すべきことを、以下のように話し合いました。
ルート上に危険なものが無くなり、安全に避難できるようにみんなで努力しましょう。



課題の内容	誰が対策する	どう解決する
ブロック塀	町内会長	町内会、住民への声かけ、ブロック塀対策・撤去補助金を周知させる
ブロック塀 (個人に言いにくい)	町・区	対処法を一緒に考えていく
道路の補修	町に要望	町に要望済み
県道の拡幅と かさ上げ	町に要望	町を通して県に依頼
ルートが暗い	町に要望 個人 各地区で	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーラーライトの設置が必要 ・ヘッドライト(懐中電灯)を個人で用意する ・街灯の主要な所を電池内蔵型に変更する ⇒自主防災会長を中心に検討会を開催する
避難場所の 案内標識が必要	町に要望	町で統一して作成してもらうよう要望する

仁科地区の町民防災会議では、現状の避難地について、以下のように課題が指摘され、対応策をまとめました。さらに、新たな避難地の設置を進めていただくように、役場に要望を出すことにしました。

私たちも、避難地を少しでも整備して確実に避難できるようにしましょう。

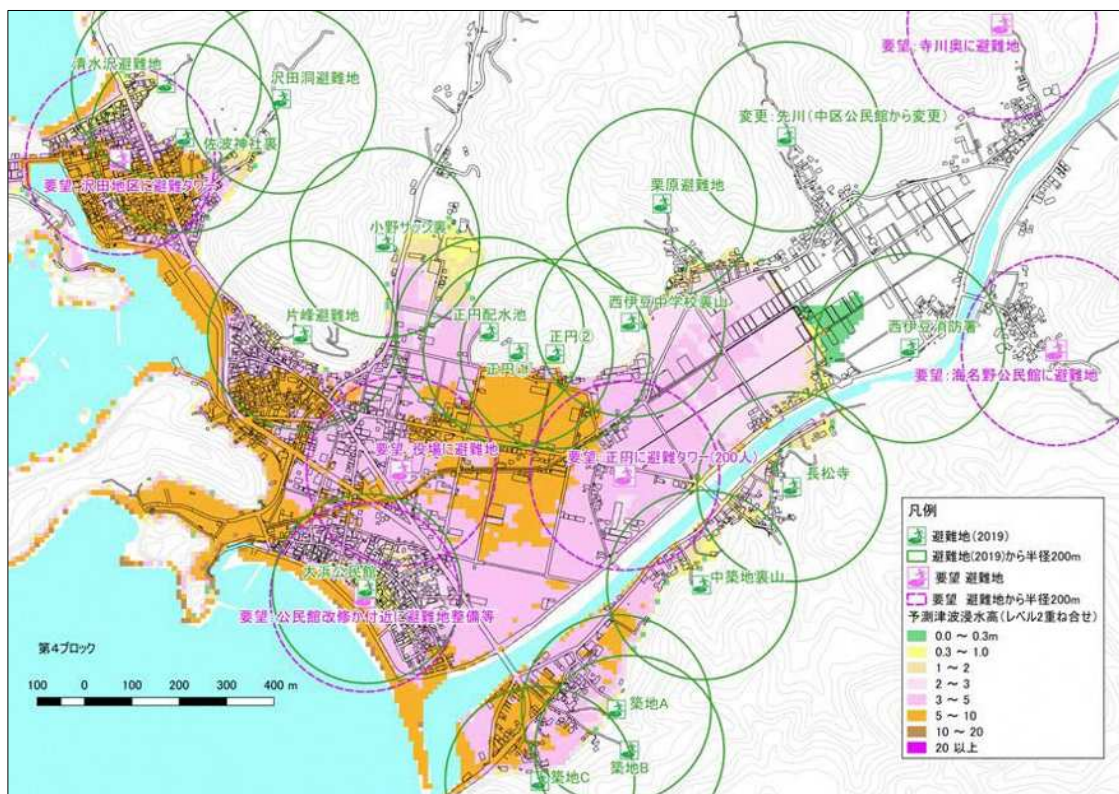
仁科地区では、今後も避難が確実にできるような避難地が整備されているかを注視し、議論を続けていきます。

<現状の避難地>

避難地一覧	改善すべき点	誰が対策する	いかに対策する
清水沢避難地	枝でソーラーが付かない 看板が小さい	区 町に要望	・ソーラーの場所を移動する ・町に要望する
佐波神社裏	看板が小さい 明かりをつける	町に要望 区	・町に要望する ・明かりを用意してつける
沢田洞避難地	狭い・人が多く集まる		備蓄はOK
片峰避難地	狭くて急		
小野サッシ裏			
正円配水池	道が暗くて狭い	町に要望 区	・ソーラーライトを設置するよう要望する ・発電機を準備する
大浜公民館	500人の住民に対し 250人しか入れない 階段が狭い・高齢者には厳しい	町に要望 など	・耐震検査の結果で公民館の扱いを検討 →可能なら、鉄骨を組んで屋上をあげる、 広げる ・マンションへの避難が出来るよう区で交 渉中・・・ →区民の要望、区長より書面を出す等検 討する
正円①			
正円②			
西伊豆中学校裏山	太陽光ライト、発電機、 コードリールを整備してほしい	町に要望 区	町・・・保管庫設置、太陽光ライトの設置を 要望 区・・・発電機とコードリールを配備
長松寺			
中築地裏山			
築地A			
築地B	太陽光ライト、発電機を整備し て欲しい 避難路を舗装して土留めを整 備してほしい	町に要望 区	町・・・保管庫設置、太陽光ライトの設置を 要望 区・・・発電機とコードリールを配備
築地C			
西伊豆消防署			
栗原避難地	行くのに7分かかる人もいる	町に要望	正円にも避難タワーの設置を希望する

<新設・移転・廃止希望の避難地>

	場所・形態	要望内容
新設①	沢田地区に 避難タワー	私有地だが、避難タワーを設置してほしい
新設②	寺川奥	浸水域外だが設置を希望
新設③	海名野公民館	公民館を避難地に指定希望
新設④	正円避難タワー	避難タワーの設置を希望
新設⑤	大浜地区	住民が多く、きちんとした避難地が必要
新設⑥	西伊豆町役場付近	避難地を新設して整備してほしい
移転	先川地区避難地	公民館の先(上の方)に避難地を移転してほしい
廃止	次ヶ田避難地	地元の人も知らない 廃止との意見があり、実際に利用していないので 廃止する
廃止	中区公民館	中区公民館は低すぎて避難地に適さないので、先 川公民館の上の方の場所に移転・変更する



- 西伊豆町では、すべての町民がすぐに避難出来るように、避難地の整備を進めています。
- 地図に書かれた円は、避難地から200メートルのラインです。



<避難に時間のかかる、ないしは困難な人を支援するためのルール>

基本的な考えかた

★支援者の負担にならない支援を行う

地域で避難支援を行うためのルール

★自分の安全を第一にして、ゆとりのある場合にのみ、支援する

★情報の入手や理解が困難な人のため、声かけをしながら避難する

★普段から家庭・隣近所で話し合っ、事前に納得しておくことが重要





家の耐震化

静岡県や町の補助制度を活用して、家を耐震化しよう！！

- 昭和56年以前の建物は、耐震診断をする
- 診断の結果を受け、必要なら耐震改修する

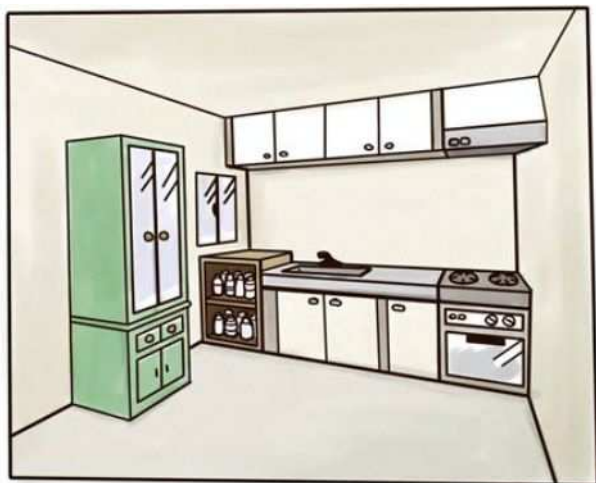
※家が倒れると津波避難の妨げになり、他の人の命を守れなくなります。

家具止めで家具の転倒・落下を防止

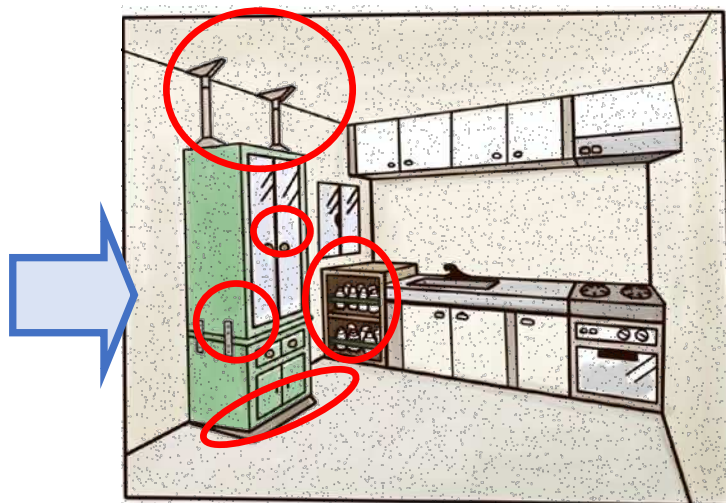
西伊豆町の補助制度を活用して、家具止めを実施しよう！！

- 普段使っている場所の周辺には背の高い家具を置かない。
- 寝る場所には、家具が倒れてこないようにする。
- 家具の転倒によって部屋の入口が塞がれないようにする。
- 下に重い物や危険な物、上に軽い物を収納する
- 家具をL型金具・クサリやベルトで固定する。
- ドアストッパー型の固定具や粘着ゴムで家具を固定する。
- 窓ガラスには飛散防止フィルムを張り破片が飛び散らないようにする。

家具固定前



家具固定後





自宅にいる場合だけでなく、日頃からさまざまな場面を想定して、避難場所や避難ルートを確認しておきましょう。

特に通勤先や通学先など、家族が普段いる場所については、その避難地を確認し、いざという時に慌てる事がないようにしましょう。

また、家族との集合場所や、緊急時の連絡方法を決めておきましょう。

※避難に関する世帯別の避難計画を作成しましょう

世帯別避難計画			
【 地区】	【 記入日】		年 月 日
【代表者氏名】	【住所】	【電話番号】	
1.避難場所と避難経路			
自宅からの避難場所		避難完了時間	分
2.非常持ち出し品の用意			
<div style="list-style-type: none;"> <input type="checkbox"/> 非常持ち出し袋 <input type="checkbox"/> 貴重品（現金・免許証・保険証・預金通帳のコピーなど） <input type="checkbox"/> 常備薬やお薬手帳など </div>			



3.家族の避難計画				
家族の名前	性別	年齢	通勤・通学場所からの避難先	避難完了時間
				分
				分
				分
				分
				分
				分
				分
				分
避難後の家族との集合場所				
避難後の家族との連絡方法				
4.緊急連絡先				
第1連絡先	【名前】	【電話番号】		
第2連絡先	【名前】	【電話番号】		
第3連絡先	【名前】	【電話番号】		
5.家族の避難支援計画				
家族の名前	避難時の支援	支援方法	避難地で過ごす時の留意点	
◆避難するときに持参すべきもの				
()				



6.かかりつけ医と常用している薬のリスト

家族の名前	病名	かかりつけ医	かかりつけ医の連絡先

ここにお薬手帳のコピーを添付

コラム 西伊豆町の支援策


























西伊豆町では下記のような、静岡県や町独自の支援策を用意しています。

これらの支援策を積極的に利用して、自宅・地域の安全性をさらに高めましょう。








支援項目	支援策
耐震診断	<ul style="list-style-type: none"> ■対象・昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅 ※戸建のほか、長屋、共同建ても対象です ■費用・無料 専門家(静岡県耐震診断補強相談士)を派遣し、耐震診断を行います 診断後に、住宅の耐震性を説明するとともに、一般的な相談にも対応します
耐震補強計画作成	<ul style="list-style-type: none"> ■対象・昭和56年5月31日以前に建築 ないしは建築中だった木造住宅 ■補助・耐震補強計画の策定作業 1棟ごとに・96,000円が限度 高齢者のみの住宅・144,000円が限度
耐震改修	<ul style="list-style-type: none"> ■対象・昭和56年5月31日以前に建築した木造住宅 耐震診断で耐震評点が1.0未満のものを、1.0以上とする耐震補強工事 ■補助額・一般住居 50万円まで (耐震補強のPRを行う住宅に+30万円追加) 高齢者等住居 70万円まで (耐震補強のPRを行う住宅に+30万円追加)
家具止め	<ul style="list-style-type: none"> ■一般世帯・固定金具等の購入に要する経費 10,000円を限度額とする ■災害時要援護者世帯等・家具の固定に要する経費、および固定金具等の購入に要する経費 22,500円を限度額とする
ブロック塀対策	<ul style="list-style-type: none"> ■対象・ブロック塀等撤去、およびブロック塀等の緊急改善 ■補助額・★撤去・1敷地につき10万円を限度 ★改善・1敷地につき25万円を限度
浮石落下防止	<ul style="list-style-type: none"> ■対象・住民や住居等に危害を及ぼすおそれのある浮石の落下を防止するため、自主的に行う防災工事 ■補助額・補助限度額は10万円

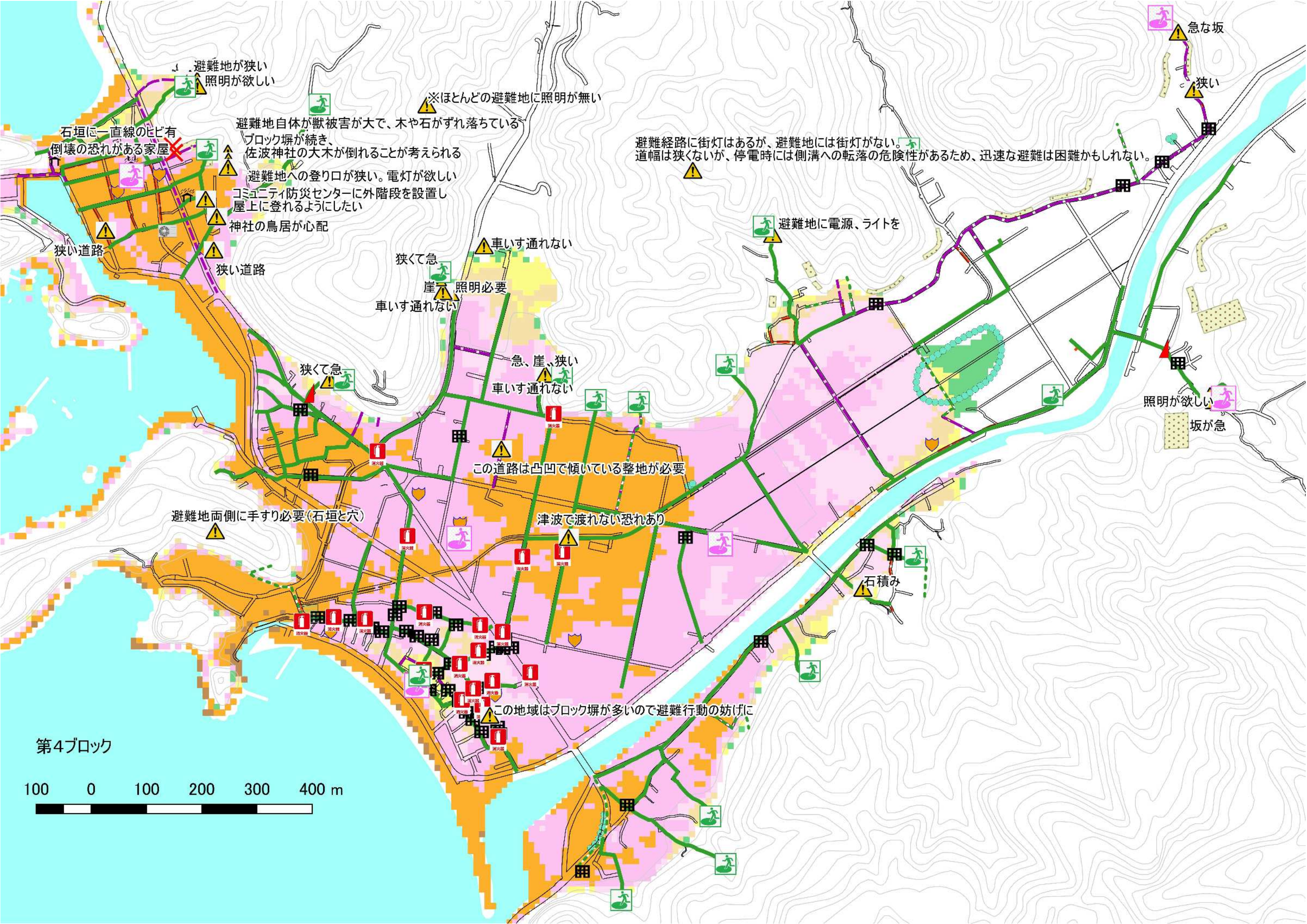
※町民防災会議のワークショップでは、東日本大震災の津波の映像を視聴しました。
このDVDは、町の防災課で所有していますので、地区の集会などでも視聴可能です。DVDを視聴して、津波の怖さを、ぜひ、皆さんも共有してください。

凡例

-  避難地(2019)
-  要望 避難地
-  コメント(2018.9.1)
-  消火栓・消火槽(2018.9.1)
-  駐車場(2018.9.1)
-  クーラー室外機(2018.9.1)
-  自動販売機(2018.9.1)
-  高い所に植木(2018.9.1)
-  割れる恐れある大きなガラス(2018.9.1)
-  看板(2018.9.1)
-  ブロック塀(2018.9.1)
-  倒壊恐れのある古い民家(2018.9.1)
-  崩れそうな斜面(2018.9.1)
-  避難経路(津波避難路マップ)
-  避難の助けになるもの
-  20140701-水涯線
-  使いにくい避難路
-  避難路
-  周囲より低い所
-  広場
-  危険な箇所
-  危険な河川
-  危険箇所(2018.9.1)
-  崩れそうな斜面
-  崩れそうなブロック塀

予測津波浸水高(レベル2重ね合せ)

-  0.0 ~ 0.3m
-  0.3 ~ 1.0
-  1 ~ 2
-  2 ~ 3
-  3 ~ 5
-  5 ~ 10
-  10 ~ 20
-  20 以上



避難地が狭い
照明が欲しい

※ほとんどの避難地に照明が無い

避難地自体が獣被害が大で、木や石がずれ落ちている

ブロック塀が続き、
佐波神社の大木が倒れることが考えられる

避難地への登り口が狭い。電灯が欲しい
コミュニティ防災センターに外階段を設置し
屋上に登れるようにしたい

神社の鳥居が心配

避難経路に街灯はあるが、避難地には街灯がない。
道幅は狭くないが、停電時には側溝への転落の危険性があるため、迅速な避難は困難かもしれない。

避難地に電源、ライトを

車いす通れない

狭くて急

崖

照明必要

車いす通れない

急、崖、狭い

車いす通れない

この道路は凸凹で傾いている整地が必要

津波で渡れない恐れあり

避難地両側に手すり必要(石垣と穴)

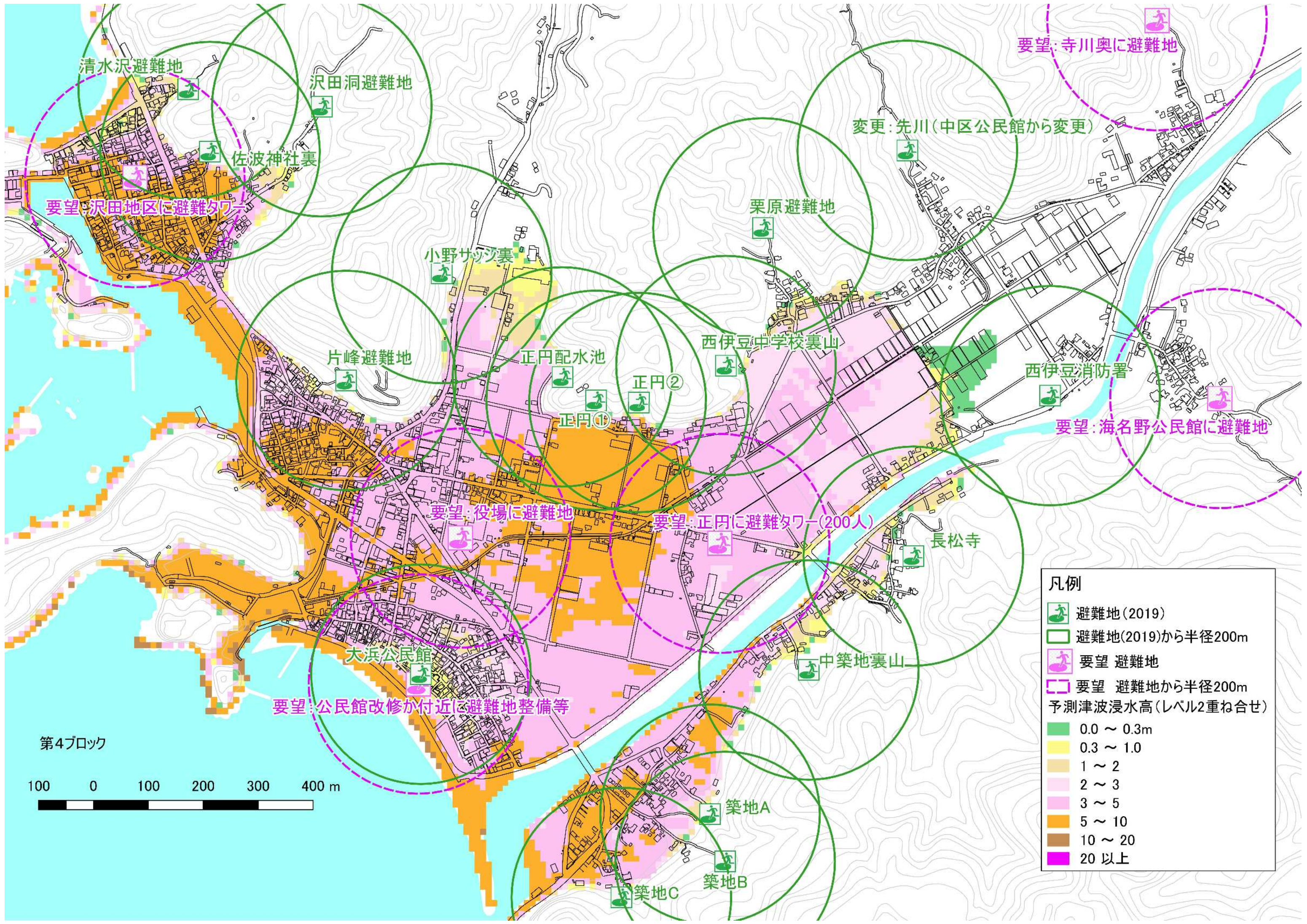
照明が欲しい

坂が急

この地域はブロック塀が多いので避難行動の妨げに

第4ブロック

100 0 100 200 300 400 m



要望: 寺川奥に避難地

変更: 先川(中区公民館から変更)

要望: 沢田地区に避難タワー

要望: 海名野公民館に避難地

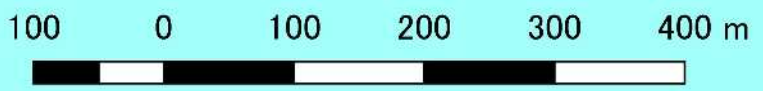
要望: 役場に避難地

要望: 正円に避難タワー(200人)

要望: 公民館改修が付近に避難地整備等

- 凡例**
- 避難地(2019)
 - 避難地(2019)から半径200m
 - 要望 避難地
 - 要望 避難地から半径200m
 - 予測津波浸水高(レベル2重ね合せ)
 - 0.0 ~ 0.3m
 - 0.3 ~ 1.0
 - 1 ~ 2
 - 2 ~ 3
 - 3 ~ 5
 - 5 ~ 10
 - 10 ~ 20
 - 20 以上

第4ブロック



清水沢避難地

沢田洞避難地

佐波神社裏

小野サツサ裏

栗原避難地

片峰避難地

正円配水池

西伊豆中学校裏山

西伊豆消防署

長松寺

大浜公民館

中築地裏山

築地A

築地B

築地C

正円①

正円②